

地域看護に活かせる GIS を用いた研究の理論と実際



— 脆弱地域を今すぐ可視化！地域の強み弱みを実践に活かす —

今年度の研究セミナーでは、地理情報システム（GIS：Geographic Information System）の活用を取り上げます。日本地域看護学会では、2040年の日本の社会情勢を考慮すると、看護職には、①人々の生活の質、②包括性、③継続性の視点を重視した看護活動がより一層求められ、これらを支える学問として「地域看護学」を再定義しました。地域看護学は、人々の生活の質の向上とそれを支える健康で安全な地域社会の構築に寄与することを探求する学問です（2019年地域看護学の再定義より）。

地域看護学の研究にGISを活用することで、地理的位置に紐づけされたリアルタイムの各種空間データを包括的・継続的に比較検討することが可能となります。セミナーでは、刻々と変化する地域社会のリスクを予測し、住民の命と暮らしをまもり、QOLの向上に有用な知見を得るために、GISを用いた研究の理論と実際を学びます。

コミュニティ（関連機関・職種や住民）との協働の視点からも役立つ内容です。奮ってご参加ください！

プログラム

GISを用いた研究の理論

講師：堀池 諒（高知県健康政策部 須崎福祉保健所 主査（保健師））

GISを用いた研究・シミュレーションの実例と共に、その結果を、災害時要支援者対策などEBPM (Evidence Based Policy Making: 証拠に基づく政策立案) にどのように活かすかについてご講演いただく予定です。

GISを用いた地域看護研究の実例

講師：中井 寿雄（金沢医科大学看護学部 准教授）

開催概要

3月5日(土) 13:30～15:30 ライブ配信（講演・質疑応答など）

3月6日(日)～21日(月) オンデマンド配信（ライブ配信録画）

視聴は簡単です！

ライブ配信・オンデマンド配信ともに、PC・スマートフォンいずれでも参加できます。

ライブ配信

3月5日のライブ配信は、Zoomウェビナーを利用します。講演のほか、質疑応答や講師同士の意見交換があります。参加方法は専用Webサイトで事前にご案内します。また、Webサイトではライブ配信に先駆けて資料をご覧いただけます。

オンデマンド配信

3月6日から3月21日までのオンデマンド配信の期間は、専用Webサイトに上記のライブ配信の記録動画を掲載します。期間中は、いつでも自由にご覧いただけます。

質問について

質問はライブ配信時のZoomウェビナー内でリアルタイムに受け付けます。

オンデマンド期間は質問できません。

参加申込

申込期間：1月11日(火)～2月13日(日)

参加申込をされた方には、2月25日までに専用Webサイトへログインするための個人IDとパスワードをご連絡します。

参加費：会員	2,000円
非会員	4,000円
学生	1,000円



<https://is.gd/ZtY12r>

申し込み方法

「イベントペイ」で参加申込を受け付けます。参加費はクレジットカード、コンビニ、ペイジーでのお支払いが選べます。上記のURLもしくはQRコードのページで詳細を確認の上、お申し込みください。